



じゃがいもずきん
「ききぼう」くん

今年も本格的に雪が降る季節になりましたが、雪が引き起こす特徴的な障害のひとつに視程障害(吹雪により視界が悪くなる等)があります。視程障害は、路面や路肩の雪の量、風の強さや車の通行など、さまざまな原因によって発生することがあります。

雪による視程障害は、その程度に応じた5つの段階があります。3段階目以上(視程500m以下)の障害が発生している場合、車の運転などには強く注意するとともに、危険が予想される場合には不要不急の外出を控えるなどの対策を取りましょう。



●視程障害の段階

段階	区分	視程	イメージ
1	良好	1000m以上	道路のかなり遠方や、遠く離れた山や丘、建物が見える。
2	やや不良	500m～1000m	雪が降っていることや、風により雪が舞っていることが目で確認できる程度。気象の急変に備えた心構えは必要。
3	不良	200m～500m	運転席から見てははっきりとした視界の悪さを実感する。道路の上にある矢羽根(※1)は、向こう3本以上が確認できる。
4	かなり不良	100m～200m	向こう2本の矢羽根がかろうじて見える程度。局地的・一時的には100m未満の視程になることがあるため要注意。
5	著しい視程障害	100m以下	矢羽根がかろうじて1本見える程度。ホワイトアウト(真っ白でまったく前が見えない)が発生するため、極めて強い注意が必要。

※1 矢羽根(固定式視線誘導柱)…道路の路肩の位置を示すための道路標識のひとつ



良好



やや不良



不良



かなり不良



著しい視程障害

猛吹雪により、立ち往生してしまったら、エンジンを止めるのが基本です。防寒着や毛布、カイロなど、ヒーターに頼らず暖をとれる準備をしておくことが非常に大切です。

やむを得ず、エンジンをかけて暖房を入れる場合は、排気ガスが出るマフラー付近をこまめに除雪する必要があります。

エンジンをかけっぱなしにせず、ある程度車内が温まったらエンジンを止めることを忘れないようにしましょう。

万が一に備えて準備しておくべきもの



緊急時の連絡先

吹きだまりによる レッカー移動などは	事故や人命救助など 一刻を争う場合は	道路管理者への問い合わせは
JAFロードサービス 救援コール ☎ 0570-00-8139	携帯電話から、局番なしの 110 番(警察)または 119 番(消防) へ通報してください。	町道 中標津町役場…… ☎ 0153-73-3111 道道 中標津出張所…… ☎ 0153-72-3213 国道 中標津道路事務所… ☎ 0153-72-3221

詳しくは、総務課 防災係まで。